

フレッシュマン・オカザキのインド通信

～インド黒 丁場報告～

お世話になっております！

いつもインド南東のタミルナドゥ州チェンナイを中心に工場回りばかりの私ですが、今回はアラビア海に面するインド西海岸側のマンガロールという都市に行ってきました！西海岸と言えば有名なゴアという避暑地があり、ビーチは主に欧米の観光客で賑わっています。マンガロールには大きな港があり、世界一周するようなクルーズ船目当ての観光客も少なくありません。私はもちろん海でなく、山にいましたが・・・(笑)

そこで今回マンガロールで見えてきた丁場を皆さんにご紹介いたします！

その名も MU! 中国でも各工場広く使われているのでご存知の方も多いかと思います。クンナムと比べ少し安価な黒系統の石ですが、クンナムに次いで評価されています。

こちらが堀口です！↓



インドの他の丁場と比べ大きさ自体は小さい方ですが、大きなブロックが取れています。クンナムなどの黒系石種は1立米かそれ以下の石がほとんどですがMUは今回見た限り2～3立米のものがほとんどで、逆に1立米ほどの小さいブロックは少ししかありませんでした。

中でも1つだけでしたが**7立米ほどあるのではないかとと思われるブロック**もありました。この大きさにコンテナに入るのかと心配になるほどです。それだけでなく、今回頂いていたご注文にはあまりに大きすぎても吊り上げる事が出来ない為、購入は見送りましたが、キズらしきものもほとんど見当たりませんでした。また、元々色の遜色の少ない石種なので、こんなブロックが1つあっただけでもキズの少ない良い丁場だと言えるかもしれません。近年、原石を仕入れてご自分で加工されるお客様も増えてきました。原石は面倒なので2面切削で・・・など対応できることもあるかと思っておりますので、詳細は弊社担当営業員までお願いします。

インド加工大阪港向け工場速報！

以前よりお伝えしていた大阪港向け工場に発注を頂いていた製品が完成いたしましたので
検品してまいりました！

古代五輪塔の発注で特に蓮華部材の加工がインドに出来るかとても不安で確認しながら進めていまし
たが、**正直私の想像以上の出来です！**こちらが製品です！↓



石種は以前もご紹介した TVMという中間色・目細の石で、非常にツヤ乗りが良い石です。そして何と
言っても品質が非常に良い出来でした。修正は細かいポイントだけで、蓮華、額入れもしっかり加工さ
れていました。

細かいところを修正して、梱包へ！・・・ と言いたいところでしたが・・・

よく見ると、色が合っていない部材がいくつかあるではありませんか・・・！工場には色差があることを
しっかり伝え、厳重に注意しました。加工精度は良いのですが、こちらの工場は今まで北米向けの注文
しかやったことが無かった為、微かな色差は見ていなかったようです。こういった事をしっかり理解し
てもらい、**最高のクオリティー**を目指して更に尽力していきたいと思えます！

↓**尽力している私です**（笑）



あなたの知らないインド！

それではお待ちかね(?) おふざけネタのコーナーです！今回ご紹介するのは「あなたの知らないインド」についてです。イギリスのBBC ニュースが取り上げたあなたの知らないインドに関する 10 の事 (10 things you might not know about india) という記事があるのですが、そこから私が衝撃を受けた記事をいくつか抜粋してご紹介してみようと思います！

・所得税をほとんどの人が払っていない！？

表題からして衝撃的ですね。。。記事によると、所得税をきちんと払っているインド国民はなんと全体の 3% ほどしかいないそうです。世界第二位、約 12 億人の人口を誇るインドですが、そのほとんどが所得税の支払いをしていないことになります。2/3 の国民が都市部ではなく地方に散らばっており、政府の把握しきれない不透明な労働がほとんどを占めているようで、所得税の収集が難しい状況にあるようです。



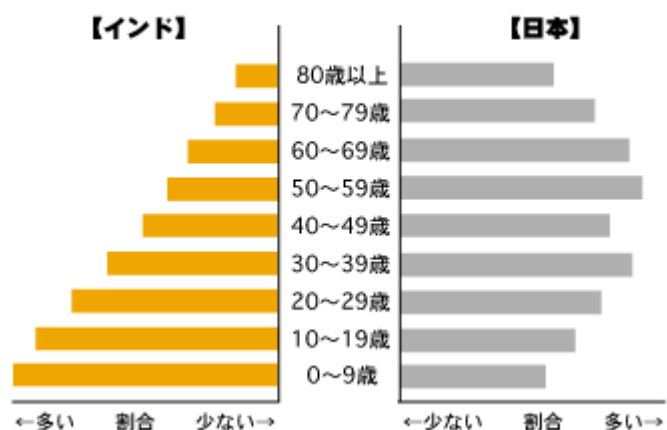
↑ 田舎に住んでる人々が如何に生計を立てているか、とても調べきれそうにありません・・・

弊社の協力工場の工場長も工場経営だけでなく不動産業もやっており、いつもグレーなお金をどうするか、必要以外の領収書や収支関係の書類はその場ですぐに破り捨てるようにしており、如何に税徴収を抑えるか、常に気にしています。とはいえどうやら支払っていない側が一方向的に悪いという事ではなく、工場長曰く、インドの税務局にあたる機関もあることないことと言って脅しをかけて、賄賂を要求しているようです。いかにも新興国といった感じですね。

・若者が多い！

記事には、インド国民の約半数は 25 歳以下だということです。そして 2/3 は 35 歳以下だとか。これまた日本からするととても信じられないような数字ですよ。インドがとても活気づいて見えるのもこれが要因かと思われる。また、インドの若者たちは他の国の若者と違い、インドの事を好いていると記事では言っています。ヒन्दゥー教への信仰心と自国への愛国心が強いようで、欧米諸国になびいておらず、自らの文化を愛している

インドと日本の人口構成ピラミッド



ようです。そしてインドの若者が好きなものと言えば、音楽です。ムンバイ、バンガロールなどの都市部では大規模なコンサートツアーや音楽祭が至る所で開かれており、大勢の若者で賑わっているようです。これからのインドの経済発展を担う若者が多いことは非常に期待できますね！

私がこの記事で最も驚いたこの二点です。また機会があればご紹介いたします！
ではまた来月お会いしましょう。有難う御座いました。

2015/05/01 オカザキ